

# 月刊 やちまなこ

2021. 8.15 発行

No.285

## 8月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



### 湿原散歩

7月の暑さが8月に入っても連日続く北海道。夏の暑さを少しでも避けようと札幌で開催したマラソンも30度越えの気温の下では厳しいレースになってしまったようだ。今年は例年に比べ雨も少なく、水位の下がった湖面では、エゾシカが水草を食べながら涼むような姿が見られた。気候変動？の影響は涼しいイメージの北海道も連日猛暑日となり、釧路地方でも蒸し風呂状態のような日が続いたが、先日の台風9号が低気圧に変わって通過した後は気温も下がり、秋を感じさせるような風の中にエゾヤマハギの花が揺れていた。



## 塘路フィールドノート【7/15~8/14】

### 【野鳥】

連日暑い日が続く塘路湖畔。野鳥たちも少しお疲れモードのようです。一方で、湖畔では巣立ったばかりの幼鳥の姿を見かける機会が多くなってきました。幼鳥たちは警戒心が薄く、時には目の前の木に止まってくれたりもします。



オオハクチョウ (シラルト口湖)

季節外れの確認です。何らかの理由で春に渡りができなかった個体かもしれません



アオサギ (塘路湖)

浅瀬に下りてきていた巣立ち直後の幼鳥たち。周囲を歩き回って餌を探していました



ウグイス (塘路湖畔)

良く目立つ枯れ枝の先で賑やかに鳴いていた幼鳥。どうやら発声練習中だったようです



ベニマシコ (塘路湖畔)

今の時期観察しやすい夏鳥の一つ。ヨシの穂や木の枝先に止まっている姿をよく見ます



キセキレイ (塘路湖畔)

湖岸で見られる機会が多い種ですが、この時は珍しく樹上にいました。幼鳥と思われます



マガモ (塘路湖)

おそらく二羽とも幼鳥の♀。厳しい暑さの中、湖面を優雅に泳ぐ姿は何とも涼げです

## 【植物】

塘路湖畔では現在真夏の花が見頃を迎えていますが、雨が少ないことで、どの花も少し潤いが足りていないように見えます。連日真夏の暑さが続いています、湖畔では少しずつ秋を感じる花も見られるようになってきました



**クサレダマ (塘路湖畔)**  
背丈が高く、咲いているとすぐに気づきます。夏らしい洗練とした咲き方が印象的な花



**エゾナミキソウ (サルルン沼周辺)**  
今年は昨年よりも咲きっぷりがいいようです。道路脇の湿ったところで見られます



**エゾミソハギ (塘路湖畔)**  
水辺に咲く湿原らしい花。ただ、今夏は雨が少なくやや乾燥気味な感じがします



**トモエソウ (塘路湖畔)**  
その名のとおり巴型の花。センター前の草むらで一輪だけ顔をのぞかせていました



**ツリガネニンジン (塘路湖畔)**  
国道沿いの土手下で存在感を放っています。落ちついた色彩に秋の気配を感じさせる花



**ヒルガオ (塘路湖畔)**  
双子のような二輪の花。草むらに埋もれることも多いですが、それでも存在感抜群です

## 【昆虫】

夏は昆虫たちの最盛期。水辺を元気に飛び回るトンボやチョウをはじめ、特徴的な声で鳴くセミやキリギリスなど、多種多様な昆虫たちが躍動します。短い夏を精いっぱい生きる昆虫たち。その姿に力強さを感じます。



**コオニヤンマ (塘路湖畔)**  
昨年に続いての確認。周辺ではやや稀なトンボですが、特徴的な飛翔姿で良く目立ちます



**ルリボシヤンマ (シラルトロ湖畔)**  
水辺で見られる大型のトンボ。ホバリングをしながら縄張りをパトロールしていました



**ツバメシジミ (サルルン沼周辺)**  
青い翅が印象的なチョウ。目で追っていたら、ちょうど目の前の草に止まってくれました

## ◎不思議なキノコの世界

8月7日(土)、真夏の茅沼蝶の森で、キノコの観察会を開催しました。この日、森の中は夏のキノコが盛りだくさん。講師の方にそれぞれのキノコの独特な生態や、森の中での役割について、詳細に解説いただきました。さらに、かさの径が20cmほどにもなるアカヤマドリをはじめ、巨大なキノコも多く見られ、参加者の皆さんはその都度驚きの声を上げていました。

知れば知るほどハマってしまう摩訶不思議なキノコの世界。興味深いお話の連続に、参加者一同暑さを忘れて熱心に耳を傾けていました。参加者 11名



ツルタケについての解説

## ◎サルボ・サルルン展望台周辺の自然と歴史を学びました

8月14日(土)、サルボ・サルルン展望台周辺で、標茶町博物館との共催行事「釧路湿原自然と歴史を訪ねて」を開催しました。当地の自然と歴史について二本立てで学ぶこのイベント、自然についての解説は当センター職員、歴史についての解説は標茶町博物館の坪岡学芸員が担当しました。

解説の中では、塘路湖畔とは一味違う森の中の動植物を紹介したほか、アイヌの人たちが築いた砦址(チャシ)や縄文人の竪穴住居址などの史跡について、その当時の社会的・地理的状况を踏まえながら紹介しました。

今我々の目の前に広がる自然は過去の歴史があつてのもの。かつてこの地に暮らした人々の生活と、それを見続けてきた変わらぬ自然に、参加者の皆さんはそれぞれ思いを馳せていました。



竪穴住居址についての解説

参加者 10名

## 9月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

### 秋のキノコ観察会 ※応募締め切りました

[日 時] 9月4日(土) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 茅沼蝶の森(集合場所はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

### アイヌの自然観～植物編～

[日 時] 9月5日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター  
(0154-65-2323)まで

### ザリガニウォッチング2

～ニホンザリガニ編～

[日 時] 9月26日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 7/15(3:56,19:00). 7/31(4:11,18:45). 8/14(4:26,18:27)

～編集後記～

■夜になっても気温は下がらず、窓を開けても風は入らず。寝苦しい夜が続き、寝不足の人もいるようです。扇風機は殆ど使わない夏の釧路地方も、最近では電気店にもクーラーが堂々と陳列されています。涼しい夏の北海道は過去のものでしょうか？私たちの暮らしや周囲の自然環境が大きく変化していることは知っているながらもコロナ禍の下、更に楽で便利な生活を求める人類はまさに「ゆでガエル」となってしまったようです。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料